

なぜ直播栽培が必要なのか

1. 課題が山積みの水田経営

コメの消費量の低迷、米価の下落、交付金・助成金の見直しが議論され、水田農業の置かれている環境は厳しさを増しています。ここで米作りの課題を整理してみます。

- ① 資材価格の高騰 → 所得の下落
- ② 育苗箱、育苗ハウス、播種機、移植機の更新が資金的に困難
- ③ 春先の(育苗～移植期間)の労働競合・過剰
- ④ 高齢化、担い手不足、農地の遊休化



2. 該当項目にチェック!!

「我が家に当てはまる」と思う項目はいくつ?

Check!

チェックが
できたら下を
読んで下さい!

- 田植時期に作業員が足りないと感じる
- 苗を運ぶのが切なく、人手不足だ
- 施設野菜を作りたいが、ハウス投資の資金が乏しい
- 野菜栽培を拡大したいが、田植え、稲刈りと作業が重なる
- 水稲作付を拡大したいが、ハウス、育苗箱の購入資金が乏しい
- 小麦・大豆の連作障害が、多くなってきたと感じる
- 代掻き作業やゴミ上げ作業が嫌いだ
- 今の面積では田植機がもったいないと感じるようになった
- 面積拡大に限界を感じる
- 規模を拡大したが、育苗管理が大変だ

★ 0~2個
(^^)/~STOP

まだ直播が必要ないかもしれません。

★ 3~6個
(^^)/~~WAIT

そろそろ導入準備のために講習会に参加し、基本的な知識を習得しましょう!!

★ 7~10個
(^^)/~~~GOGO!

試験導入を検討しましょう! 現地研修会にも積極的に参加し、導入準備を進めましょう!

3. 直播導入の考え方!

<試験導入1~3カ年>

(見極め期間は3年以内)

- 1 導入効果を見極める
- 2 技術を習得する
- 3 仲間づくり

<導入後4~6カ年>

(導入効果を引き出す3年間)

- 1 機械費用を2000円/10a以内にできる面積実施。
- 2 空いた育苗ハウスの活用を心がける。
- 3 田植機の稼働率の適正化
- 4 育苗関連の新規投資をやめる

直播のメリットとデメリット

1. 直播の種類とその特徴

畑状態で播種をする乾田直播と代掻き後に専用機で播種する湛水直播があります。それぞれにメリット・デメリットがあります。空知管内の美唄市は乾田直播、妹背牛町は湛水直播の全道でも有名な先進地です。

表-4 移植栽培と直播栽培の利点と課題

項目	移植(完結型) 10ha規模	移植(完結型) 20ha規模	湛水直播 20ha規模	乾田直播 20ha規模
主な特徴	機械の稼働率から個別経営では高コスト。	機械の稼働率は◎であるが、春先の労働時間が大きい。	代掻き後に専用の播種機で播種。	乾田に碎土後トラクタの作業機で播種をする。
10a当り生産費	100,245円	93,563円	87,245円	88,627円
10a当り労働時間	16.0 時間	14.5 時間	9.3 時間	8.6 時間
メリット	自由に作業が出来る。良食味の品種が安定生産できる。	自由に作業が出来る。良食味の品種が安定生産できる。	播種以外の作業は移植栽培と同じで、個人でも取り組みやすい。	作業機は麦・大豆と共用できる。播種効率が高い
デメリット	部分ないし機械共同ができなければ、低米価では生産原価が赤字である。	春先(育苗・移植)の労働時間が家族労働での限界を超えている。	播種機は専用機である。落水出芽法の体得が必要。	鎮圧ローラーなどの作業機と大型トラクタが必要。共同播種作業が必須。

※ 生産費と労働時間: 営農Navisシステム・JAいわみざわ版で試算した数値

2. 生産費、労働時間の比較

図-3、4はある直播導入の経営の平成18年の生産費調査の結果から、生産費の比較を示したものです。今や生産費は移植栽培より低く、所得は確保されています。

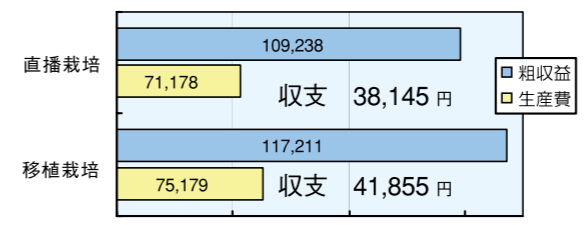


図-3 10a当り生産費(円/10a)

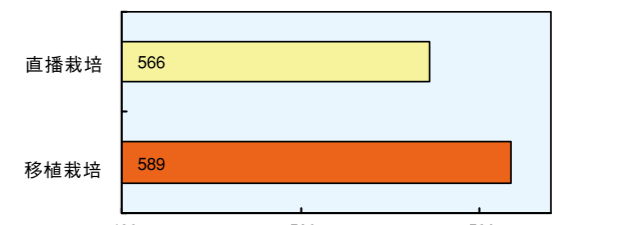


図-4 10a当り収量(kg/10a)

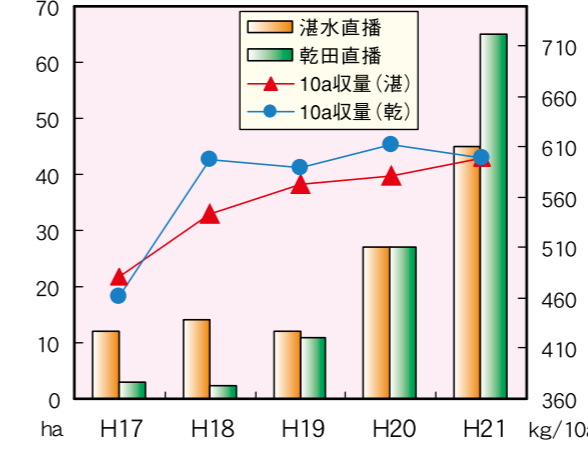


図-5 近年の岩見沢地域の直播収量と栽培面積の推移

近年、直播栽培の関心は高まり、いわみざわ地域では作付が拡大しています。収量も安定した成績を上げており、省力・低コスト技術として注目されています。

※ 平成21年は見込みの数値で、収量は目標値
※ 普及センター調べ